



活ける泉

年間聖句
願いと祈りと執り成し
と感謝とをすべての人々
のためにささげなさい。
テモテ 2章1節

将来につながる実り

校長 石村直義

秋分の日を過ぎました。日中の日差しや最高気温には気をつけつつ、早朝のひんやりした空気、日没時刻のはやさなど、季節はうつりかわっていることを感じます。熱中症等に油断はできませんが、過ごしやすいつ季節になってきました。

二学期前半、二つの大きな行事が行われました。活水祭では大勢の来校者をお迎えして一般公開され、盛り上がったチャペル等での演奏や発表、教室での企画・展示、学習発表、芝生広場のキッチンカー、カフェテリアの限定メニューなども楽しめました。PTAによる販売や場内警備のご協力にも感謝いたします。生徒会役員や中1・高Ⅲのスタッフ活動も歓迎の気持ちがよく表わされていました。当日までの様々な準備、練習を経たからこそ、成果は輝いていました。自分たちのそれぞれの取り組みはもちろんですが、活水祭全体で表した実りはとても大きなものでした。

体育大会では、前日の総練習において、各プログラム・種目の流れ、係の役割の細かな分担や仕事内容、具体的な動きなどに時間を使って準備したことによって、当日は大きな時程のズレや混乱なく進行できました。体育の授業で準備してきたダンス等の発表、特に緊張と感動の第106回メイポールダンス、各種競技、生徒が手際よく動いてプログラムが進んでいく様子、ともに作り上げた垂幕、あふれる笑顔、どれも大きな成果でした。朝早くから終了まで声援くださった保護者等関係の皆様にも感謝です。

行事はその当日に表されたもののすばらしさは言うまでもなく、そこに至る準備過程にも大きな実りがあります。一人ひとりが持つ豊かな創造力が生み出すもの、作業などの場面で光る各自の得意技、仲間と共につくりあげていく時の支え合いや友好、共に味わう達成感や満足感、これらは深い体験となって宿り、将来への力になっていくのです。楽しかった記憶を後から写真や動画などで思い起こしたりしますが、しっかり染み込んだものは、たとえ記憶が遠のいていったとしても頭や心、身体の深いところですっと残って、その人を活かし続けるのです。

入試説明会

10月25日 (土)

一緒に楽しい時を
過ごしましょう

※詳細はHPにて

10月行事予定

- 6(月) 高校中間考査・中学特別行事
中一宿泊研修(7日まで)
- 7(火) 月曜日の授業
高Ⅲ小論模試
- 8(火) 高一活水女子大説明会(午後カット)
中学生徒会役員改選立候補×切
- 11(土) 高三模試
- 13(月) スポーツの日
月曜日の授業
- 15(水) 高校生徒会役員改選立候補×切
- 16(木) 中三進路説明会
- 22(水) 第2回スプリングコンテスト
中学生徒総会⑥
- 27(月) 高ⅠⅡ性教育講演会⑥(チャペル)
高ⅠⅡ模試
- 27(月) 高Ⅱミミライ探究職場体験(終日)
- 28(火) 看護学部体験病院見学(希望者)
- 29(水) 生徒修養会準備祈禱会
高校生徒総会⑥
- 30(木) 生徒修養会

11月行事予定

- 1(土) Ⅲ模試(2日まで)
- 3(月) 文化の日
- 5(水) 月曜日の授業

第126回体育大会

中学

中学生は、赤組、青組で縦割りに分かれて競技を行いました。競技内容は、台風の目や混合リレーなどの団体種目や短距離走、借り人競争などの個人種目を行いました。優勝は赤組でしたが全員が一糸懸命頑張っていました。また、中学生全員で、伝統あるマズルカを披露し、創作ダンスでは3年生が自分たちで作ったダンスを披露したりと、観客からは歓声が多くあり盛りあがったダンスでした。この体育大会までに数多くの練習を重ね、仲間と協力して作り上げていくことの大切さを通して、クラスの輪、中学生の輪が広がった体育大会だと思います。今後の活動も頑張っていきたいと思います。（江上晴香）



高！創作民舞

体育大会で高Iは民舞でシナモン盆踊り大会、ハローキティ音頭、活水音頭と3曲踊りました。保護者の方に浴衣を着つけてもらって各自でうちわを準備して最初はクラスごとに円を作り、二曲目の途中から学年での円に隊形移動して踊りました。各クラスの民舞委員が夏休みに振り付けを考え、それを指導して覚えてもらいました。活水音頭は今年で60回目でした。伝統を引き継ぐことができみんな楽しく踊ることができました。(平野智也)



高II ダンス 騎馬戦

高校Ⅱ年生は、1学期から2曲の作品に取り組み、高Ⅱらしいダンスを披露することができました。各クラスのダンスは、ダンス委員が中心となり、それぞれのクラスらしい楽しい作品になりました。また、団体競技は、騎馬戦でした。4人で騎馬を作り各クラス6騎ずつで戦いました。各クラス授業で組み方や作戦を考えながら練習を重ね、発揮することができました。順位は以下の通りです。1位 Cクラス、2位 ABクラス、3位 Dクラスでした。(向井杏奈)



高川 仮装競技

今年の仮装競技は、各クラスそれぞれの色がうまく表現されていたと思います。

A「美しく」B「可愛らしく」C「カッコよく」D「面白く」というのが私の個人的な感想です。準備期間がとても短かったので、担任の先生方は作品の出来上がり具合にハラハラしていました。でもさすが活水生、「やる時はやる！」観客に楽しんでもらい、自分たちも楽しめる競技にしようと頑張りました。クラスみんなで団結して取り組んだ「仮装競技」は、この先もずっと忘れられない思い出となることでしょう。

(増田康子)



メイポールダンスを終えて

初めてメイポールの振り付けを練習した時、３年生になった自覚が明確になりました。母や叔母も踊ってきた伝統あるメイポールダンスを、自分が踊れるのかと思うととても緊張し不安すら覚えました。メイポールダンスを踊り終え、だれ一人でも欠けてはならない一人ひとりが大切であることを実感し感動しました。一生忘れられない思い出になりました。（ⅢＡ英 板谷 涼花）

初めて活水の体育大会でメイポールダンスを観た時、訳もなく感動したことを覚えています。いざ自分が演技する番となり、その難しさにきちんと踊れるかどうかとドキドキしました。本番を迎え、みんなの顔を見ながらリボンを編み続けていくうちに自然と涙がこぼれそうになりました。両親も感動してくれ、活水生でよかったと思いました。（ⅢＡ特 岩佐 祐希）

メイポールダンスは一人では完成できないけど、みんながいることで綺麗な編み目ができ、一つの演技が完成するものだ実感しました。本番でリボンが編めなかった友人のために、大会終了後にみんなで輪になってポールを囲んで演技できたことは、私たちの学年らしい優しさに溢れていて、この学年、この仲間の一員で本当によかったと感じました。今後も人と協力して何かを成し遂げなければならないことがあると思います。その時はこの経験を思い出します。（ⅢＢ 馬場 春佳）

私は中学生の半輪演技から５年間メイポールダンスを観てきましたが、じぶんが踊る番になった実感がなかなか湧きませんでした。メイポールのリボン縫いから参加し、準備段階からずっと関わりました。準備はとても手間がかかり、正直少し面倒くさいなど感じる場面もありました。それでもずっと１０６年間受け継がれているのがすごいことだと気づきました。本番では６年間の思い出が走馬灯のようによみがえり、涙があふれそうでした。残りの高校生活を一日一日大切に過ごそうと思っています。（ⅢＣ 柳田 紅愛）

６年間、憧れのメイポールダンスを大好きな仲間と踊りきることができて本当によかったです。活水の伝統を受け継ぐ一員となれて誇らしく感じています。残りの高校生活を全力で楽しみ充実させたいです。（ⅢＤ 朝長 陽稀）

毎年、同じ踊りを、ほとんど同じように生徒に教えます。それなのに生徒たちは毎年違った個性を発揮してくれます。私はそれを最も楽しみにしています。

何か新しいチャレンジをする時、今までの考えややり方を１回リセットして、頭を切り替え、柔軟さと創造性を取り戻し行動する勇気が必要になります。その作業を生徒たちは豊かな感受性と直感で難なくやってのけているように思います。１０６年間、粛々と変わらず受け継がれてきたこの演技は、生徒たちの無限の可能性を再確認させてくれる大切なものです。

（増田康子）



第２回中高オープンスクール

９月１３日(土)第２回中高オープンスクールを実施しました。今年は新プログラムとして卒業生によるパネルディスカッションを行いました。昨年度まで、生徒として通っていた３人が立派な卒業生として帰ってきてくれて活水の素晴らしさを来場者に伝えてくれました。中高大吹奏楽部ウェルカムコンサートや在校生交流会、授業体験や理科実験など大盛況のオープンスクールとなりました。次回は１０月２５日(土)の入試説明会です！ぜひ、お越しください！！（草野深音）



国スポビーチバレー

９月６日（土）に滋賀県での国民スポーツ大会ビーチバレーに長崎県代表としてⅢ年の吉田・尾崎ペアが参加しました。初戦は山形県との対戦でした。相手は６人制でも全国大会常連校の選手で技術がしっかりしている強豪でした。第１セットは追いかける展開で中盤に離され、第２セットは一進一退の攻防で最後まで競り合いましたが、力及ばず逆転で失い０-２で敗れてしまいました。しかし初の全国大会を楽しんでいい経験になりました。（平野智也）



マーチングコンテスト金賞！

９月６日（土）島原復興アリーナにてマーチングコンテストの県大会が行われました。

九州吹奏楽コンテストから時間がない中学生達は集中して動きと音楽を覚え大会に挑みました。結果は金賞！そして県代表として九州大会出場が決まりました。まだまだ練習をする所は沢山あります。九州大会では最高の演奏演技が出来るように頑張ります。皆様応援よろしくお願いします！！（杉町たまみ）



大会成績等

〈中・高吹奏楽部〉
九州吹奏楽コンクール 金賞・九州代表
（全国大会出場）

長崎県マーチングコンテスト
高等学校以上の部 金賞・県代表

〈バレーボール部〉
ジャパンビーチバレーボールツアー
アンダーエイジ山口大会女子の部
第１位 吉田・尾崎チーム

〈中学新体操部〉
九州中学校新体操大会
団体優勝 大石仁菜、谷口玲奈、井上楓
北原聖妃、佐々木ひなの
個人 総合７位 北原聖妃

〈個人〉
PIARAピアノコンクール
シニアＡ部門 アポロ奨励賞 田添音詞

グレープカップコンテスト
Good Speaker Prize 平田笑子
（岩永崇史）



今月の聖句

「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい」
（ヨハネの黙示録 ３章１５節）

日本語を韓国の大学で教えていた時、教えることが難しいと思う単元に「日本語コミュニケーション」がありました。日本語はあいまいさの中で意思を伝えます。明確に直接的に意思を伝えず、意図するところを察し、円滑なコミュニケーションをとる。人間関係をうまくいかせるための日本語独特の技術であり、The日本文化です。これは冷たくもなく熱くもない意思伝達手段と言えます。外国人には習得が非常に困難です。またこのあいまいさから誤解が生じるのも事実です。しかし神様に対してこのようなあいまいさは通用しません。冷たいか熱いかどちらかであってほしいとは、あなたの決心を明確にしろという意味だと思います。冷たくもなく熱くもないところに熱心さは生まれません。神様の前では素直になることだと思います。（北見さとみ）